いわき民報

發行所
いわき民報社
平市田町一番地（電話三八一番）
編輯兼發行人兼印刷人　千輝克己
定價一ヶ月參圓　一部十五錢

麥の作況極めて不良

祟つた雨天續き　肥料不足に病害も

昨年の半作程度か

饑餓線上を彷徨する食糧危機の突破に、殊に七月から九月にかけての端境期直前に逼迫した食糧需給操作に最重要な位置を占める本年の麥の作況はどうか？出穂期の昨今の現況は樂観を許さないばかりか、寧ろ悲観材料山積とある、即ち本年は播種後一、二月の暖冬で概ね徒長し、分蘖が平年よりも少い上に、三月以降の天候が順調であつたにも拘らず五月に入つてからの天候が、五月晴どころか逆に雨又雨でぐづつき冷え込み甚しく加ふるに基肥不足と反當四貫目は必要な追肥硫安も漸く一貫二百匁見當の寂しさのため各種の病害も多く、特に加里不足は恐るべき斑葉病さへ生んでゐる、從つて先づ今後天候が回復萬事順調にいつて昨年度の七十%惡くすれば五十%、以下に落ちはせぬかと観測され農家は勿論農業會、地方事務所あたりも憂愁に閉ざされてゐる

二毛作が最惡狀態

畑地が良いか七割程度漸く

麥作況は極めて不良と悲観されてゐるが、殊に平坦部の二毛作が惡く、病害の發生等から收穫皆無絶望狀態にあるものすら多く、良いところで昨年の五十%とゆけば上々吉、山間部も冷害で同様の狀態、稍々良い畑地のもので、それでも最も良いので七十%といつた現況とある、尚郡下の昨年の麥作は大麥七萬二千九百五十俵、小麥一萬八千五百四十俵とある

作付面積からも

減收豫想

五割すら缺くか

右に就いて石城地方事務所農林課では語る

一時はこの分ならば相當穫るのではないかと思へたこともあるが、天候異變と肥料不足にすつかり祟られ目下のところでは不作と遺憾ながらいはざるを得ない、昨年までは戰時中で増産意欲に農家も燃えて居り、人手不足で増反割當が實行出來ないものも、二反歩を三反歩に増反したが如く報告、苦しいながら二反歩の收穫中から三反歩分の割當を供出してゐた向が少くなかつたから、實際の作付面積の上からも數字上とは相當の減少をみてゐると思へるので先づ昨年の五十%惡くするとこれを缺くかと観測される

◇サービス強調週間
自五月十日至五月廿日
◇家庭用電氣器具實費修理
◇巡回修理班設置
是非御利用下サイ
東北配電從業員組合
平事務所

事務職員調査

配給資料として平市役所では配給調査の資料蒐集のため會社、工場、統制組合、官公署各種團體の成年以上事務職員の調査を十五日まで行ふが該當團體は期日まで配給課へ申込れたいと

コンサート　湯本町女子青年會主催の第二回レコードコンサートは十二日午後六時半から舊國民校で開催盛況だつた

平市の公葬

故森下良雄軍曹の公葬は十五日午后一時登丁目の自宅で執行又仝日午后二時堤の内故猪狩彌也軍曹の公葬も仝日二時誓提院で執行された尚十七日には杉山勝美氏の十九日には古川弘文氏の公葬をそれ／＼各區内會毎に行ふ

强口唯七郎氏證言か

問責調査委員會開かれる

平市會の問責決議案に對する調査委員會は十四日午后二時から市長室に開かれ

荻原、永山正副議長始め提案者の馬目、贊成者野崎兩氏及び柴田、堀、井上、小松の四氏等八委員全部出席

委員會の内容については絶對秘密を嚴取することを申合せてゐるため發表されてゐないが、委員長には堀喜一氏が選任され、調査方針を決定し、先づ警察署に大竹署長を訪問したが外出し留守だつた爲小林警部補と打合せ一應引上げたが調査委員會は午后五時頃まで行つた、

この間委員會室に蓮沼龍輔氏の選擧參謀であつた强口唯七郎氏が出入してゐた、强口氏は富士興業工場火災の際類燒した隣家の住宅を所有してゐる事實から見て、同氏の證言を求めるため出頭せしめたものゝ如くである

尚次回調査委員會は各委員の都合から十九日再會することに決定、當日大竹平署長と面接し當時の狀況を聽取することになるらしい

問責問題尖鋭化

黑白つくまで徹底的に究明

平警防團長に對する問責決議案は何れかに黑白をつけねば收まらぬほど尖鋭化するに至つた、團長の非行が明かにされ、決議案が採擇された場合、關內團長は元より、團員總辭職して責任を明かにするであらうし、萬一調査の結果非行無しとすれば提案者の馬目武之助氏を始め野崎滿藏、木村淳兩氏も市民を驚がせ警防團を非謗した點を追求され、責任を執ることにならうし容易ならざる事態に到達した

野崎氏は顧問

同氏の立場に難点

問題の決議案に贊成した野崎滿藏は平警防團の顧問であり、木村淳醫師も同警防團の救護部の幹部だから内輪同志といふ譯で外部から云はせれば共同責任体といふ所である

野崎氏の場合は顧問と成つてゐる以上、他から署名に贊成を求められたとしても一應は『マア／＼』と相手方の諒解を求め、然る後顧問會を招集して事實を檢討、實際警防團員など、團長に非難すべき點ありとせば顧問會に依つて警告するとか、乃至は監督の立場にある警察署長へ進言し善處を求めることが順序とすべきであらう騎虎の勢ひで市會へ上提した場合でも一應協議會にかけて懇談するやう誘導したなら時間的余裕に依つて斯る紛糾を見るに至らず圓滿に話がついたのではあるまいか

顧問の立場にある野崎氏が決議案の贊成者である處に『選擧のウップンだらう』と非難される理由がある、野崎氏が警防團の顧問といふ責任ある地位を忘れての處置か、乃至知つてゐての行爲かは知るに由ないが、とんだ紛糾の種を蒔いたものであり迷惑を蒙るのは結局市民であらう

樫村助役昇格内定

赤井村の後任村長問題決る

平澤赤井村長勇退に伴ふ後任村長問題について部落會長會では公選論も出たが、參與會の結果十三日村會協議會を開いて一先づ現助役樫村富保氏を昇格せしめることに内定した、近く公選ともなる模様であり現狀のまゝでは樫村助役も二十二日には滿期となるので村政の停止狀態となる處もあるとて決定を急いだものとある

綾太郎實演

浪曲界の花形浪花亭綾太郎が澤市に扮しての浪曲劇壺阪靈驗記がいよ／＼十七日限り湯本町湯本座で開催される綾太郎の澤市實演は初めてで六代目菊五郎の秘藏弟子尾上笑雀の特別出演とあり前人氣盛んである

不具を悲観　好間村北好間字小田郷農泉田嘉吉さん次女看護婦とし子さん（二二）は十四日朝自宅で昇汞水錠を飲下し自殺を圖つたが重態不具の身を悲観したもの

空巣捕はる　川部村大字小川字梅田四居住無職呉東植（三〇）は十日植田町字堂ノ作石井チエ方の留守宅に侵入金紗外四十点の衣類公價約壹千五百圓を窃取同家の自轉車に積んで滿載逃走せんとしたところを植田署員に捕はれた、仝人は昨冬來本縣及び茨城の兩縣を股にかけ十二件の空巣をも働いた

乳房で壓死　内郷町小島字竹の内農志賀一郎さん妻タケヨさん（四二）は十一日夜就寢中乳房で次女の和子ちやん（一ツ）を窒息せしめ平署へ

御詠歌大會　磐城聯合御詠歌大會は久野會長以下六十名が去る十一日赤井嶽に參集開催した、戰歿英靈の追悼旭大僧正の護摩修行も行はれた

老婆溺死　高久村下高久字上山口志賀フデさん（六五）は八日午后飯野村へ用事で出掛け同村中山字大猿田地内にある沼に誤つて轉落溺死した

衣料の闇　平市上平窪字横山鈴木三明（四九）は三月來市内白銀町伊達屋旅館止宿のブローカー鈴木榮（四二）より作業衣三十着を一着三百六十圓で買ひ四百圓で下小川村西山輝雄外九名に賣却統制令違反で檢擧取調中の所送局された

湯本に二食品工場

双方四十萬圓で建設を急ぐ

饑餓線突破の救國事業として代用食製產を目指す二大工場が今度湯本町に建設されることに決定各方面から大きな期待をかけられてゐる…一つは比佐正明氏を社長とする〃未利用資源粉碎化工場〃で、先づモーター五臺、粉碎機五臺、截斷機一臺、製菓機一臺を設備、海山草を始め凡ゆる食用として利用し得るものを全部粉化し食品化せんとするもので一日の粉化能率は四十石とあるいま一つは同町食糧營團出張所長新妻稔氏が食營福島事務所と三菱工業の斡旋後援の下に精麥機二臺を設置一日三百俵の加工を目標に代用食の生產をなさんとするもの双方共に資本金は四十萬圓宛で比佐氏の工場は同町三函に新妻氏のものは同町矢吹に設置されるとある

平驛青年聯盟大會

平驛青年聯盟では内容充實を計る爲十七日臨時大會を開き幹部の總選其の他を行ふ

五月上旬の出炭量

今月上旬常磐炭田の出炭量は五万七千二百六十四トンで豫定より二千百八十六トンの減である、これは隅田川炭礦の出水と三和炭礦の揚水ポンプ故障に依る減產で、稼動日八日稼動率八十五%であつた

郡下各地のチブス禍

嚴重な警戒を要す

昨今發しんチブスの續發に鑑み郡下各方面とも警戒に余念ないが又々渡邊村釜戸農若松武夫さん（三二）田人村石住農大竹惣市さん（三八）植田町本町渡邊長次郎さん（四五）の三人は發しんチブスと決定、うち渡邊さんは死亡した

發しんチブス　内郷町大字内町字前田礦夫スヱさん長男高村務さん（十六）は十三日發診チブスと決定隔離

又好間村大字北好間字離小田炭礦長屋八號金田マミさん（四〇）長男定光さん（一七）二女セツ子さん（一五）三男利英さん（一二）三女洋子さん（五）一家五名は十三日發しんチブスと決定隔離

いわき寸言

▼警防團長問責問題は遂に社會問題化せんとする形成にある、調査委員會に依つて遠からず黑白を明かにされるであらうが、吾等平市民の警防團長が、戰時中全市民の生命財產保護の重任に專念するため、市會議長の名譽職さへサラリと投げ出し、多數團員と共に家庭をも顧ず、晝夜の別なく防空と防火に從事してゐたことを改めて銘記すべきであらう

▼警防團顧問として共同責任体たるべき野崎滿藏氏が事もあらうに問責決議案の贊成署名人である處に不純な動機が介在してゐるのではあるまいか？と疑惑の眼を向けられる余地がある荻原氏會議長も同じ警防團の顧問であり、もう一人の贊成者木村淳醫師も又救護部の幹部であつた、これだけの陣容をを有しながら問題を表面化させたことは、それ／＼の立場から責任を負ふべきではないか、一考を要する問題であらう

來月から一割減配必至

郡市民は心構へて對策が肝要

食糧危機はいよ〳〵深刻化して平市も遂に遲配の上に、三日分乃至二日分宛の細分配給となつて來た、この危機を如何に切拔けるか？食營始め各關係方面擧げて血眼の姿であるが縣當局に於ても連日對策協心中で、十五日の山形に於ける東北地方經濟部長會議でも主要案件とされた上明十七日秋田市に開く東北六縣知事會議でも實情の交換を行ふので、この結果に基いて縣としての對策を樹立、二十一日の地方事務所長會議で指示實行に乘り出すことになつてゐる、然し目下の情勢では來月からは最少限一割の消費規正は免れぬ必至のものと觀測されてゐる、從つて一般消費者もこの際如何に食ひ延してこの危機を突破すべきか、十分なる覺悟を以つて對策を眞劍に講じて置かねばならない

不正受配最も多し

今度は配給者達も同樣嚴罰

最小限一割の消費規正と共に縣は強權の發動擴大をなすに決定する一面、幽靈人口と職種詐稱の徹底的一掃に全關係機關を動員して當ることにもなつたが、非農配給では二合一勺なので現勞配給を目指して三合八勺の不正受配してゐるものが多く一般職種詐稱と共に、この種惡質受配者が縣下では濱通りが最も多いとされてゐる、尚この取締りに當つては受配者のみでなく、知りつゝ情實から配給を許した町村當局の責任者をも受配者同樣嚴罰に處することにもなつた

新生活を目指して

引揚者三家族が率先歸農

シンガポールから歸つた平市平窪字古舘新妻光司さん（家族四名）臺灣から歸つた下平窪字十文田根本正義さん（家族四名）朝鮮より引揚げた下平窪字舘岡星名清重さん（家族六名）の三名は敗戰の風にたゝかれて生活苦と敢鬪中だつたが、先づ新しい生活はすべてを御破算して再出發すべきであると歸農を決意、市內下平窪字古舘地內の元軍用保護馬鍛錬場一万二千坪を引揚者へ開放することになつたので率先借受けうち二千四百坪を耕作することになり着手した

宗教屆出速に

去る二月の勅令で神道教派、佛教宗派及キリスト教其他宗教の教團並に神社、寺院、教會は宗教法人となる事が出來る樣になつた、屆出期間は二月から六ケ月以內とある、現在神社明細帳に登記してあるのは市內關係で五十三ケ所であるが今回の屆出は之以外の各町內會等にあるものも含まれるものと見做されてゐる、該當寺院、神社は間違ひなく手續きする樣市では望んでゐる

御注意を

傳染病激增

天候の不順と併行して最近傳染病の發生が多くなつて來たが平署管內で今年に入つてから出た傳染病は次の如く天然痘、發しんチブスが殊に目立つて來たので注意が肝心です

▽腸チブス五五名 ▽赤痢六名 △ジフテリヤ四九名 ▽發しんチブス三三名 ▽天然痘一六名 ▽流行性腦髓膜炎八名

不二工業で

疊上敷製作

湯本町表町壇屋吳服店跡に今度不二工業株式會社湯本工場が建設された、同社は東京都本所區綠町四丁目に本社を置き、疊紙上敷、同下敷、紙袋各種、酸素電氣熔接器具一式を製作販賣するが疊不足の折柄上敷は好評を呼んでゐる

藥品で奉仕

湯本町郊外長倉藥舖生盛堂では今度キリ印藥生盛藥劑株式會社の縣下總代理店として同社製の胃腸、風邪を始め諸藥卸小賣販賣を行ひ藥品不足になやむ地方人に奉仕することになつた

姙婦殖える

復員のお土産か

產兒制限が喧ましく唱へられてゐるとき、それと逆行して最近姙婦が殖えてゐると云ふ統計……平市役所衞生課に屆出た姙婦屆は先月は昨年の五十名に較べ七十六名、今月は十五日現在で昨年の二十五名に比し三十五名と何れも增加してゐる、小谷衞生主任の辯解は――

それは復員のお土産ですよ、日露戰爭のときも終戰後ぐつと殖えましたが同じことが謂へると思ひます、若し市民が產兒制限を眞劍に考へるならその效果は今後に現れるでせう……

とのことだ

開放

投書を歡迎す、要望、批判結構　紙上の匿名可

黑白を明かに

▼平警防團いびりがまた始つた、御當人達は趣味でやつてゐるならこれは如何とも致し方ないが、そのとばつちりが市民の傘の上にかゝつては吾等が迷惑する。黑白を早くつけて貰はぬと、此の間に火災でも發生し、今度こそホントウに消防をサボられるとどういふことになるか想像するだけで寒氣がする。空襲で燒かれたゞけでもう澤山だこんな時こそ、勿論何時でも大切だが……市民はお互ひ火の元御用心と行きませう

▼常備消防は現在九名あり、これが一晝夜交代で四人宛（日勤一人）勤務することになるのだが、平常用がないやうで擔當に神經を消耗する、タツタ四人へ全幅的に期待かけるのは勿論無理だ。それでも訓練の行き屆いた平常備は縣內で最秀の折紙をつけられてゐるのである。若し落度があつたとしても、それは人間である以上絕對無いとは斷言出來ぬのだから、突如市會へ決議案など出さず、協議會へかけてたしなめるなどの方法に出たらどうだつたか、今更仕方ないが……

▼薄給に甘んじ、この團長の命ならそれこそ水火も辭せずと市民の財產保護に挺身してゐるのだから、萬一多少の禍誤があつても、いたわつてやる度量があつたら彼等は一層勉勵することになるだらう。一々落度を拾はれては……と嫌氣がさし、總辭職でもされたらそれこそ事だ黑白を明かにし問責が間違つてゐたら慰留してやるべきであらう

（武藏山人）

授業料

値上げ

市內中等學校の授業料は物價高に應じ値上げ四月に遡り徵收する事になつた

▼平女、女子商市內八圓 市外十圓 磐中十圓 ▼磐女、平商、平工、水產各校八圓農學校男七圓、女五圓

浪曲大會の前賣

湯本町の外地引揚者、戰災者、復員者義捐金募集浪曲名人大會は二十一日湯本座で、方面委員厚生後援會菅野富氏の主催で開催されるが場內整理のために前賣券制を用ひるとある

西村教授

を圍んで

湯本町青年會では本十五日午後六時半から國民學校で第二高等學校教授西村貞二氏を圍んで座談會を開いた

大豆種の配給

平市役所では空間地の利用を奬勵するため種子大豆二石を各隣組通じて割當する、現品は入荷次第配給の豫定

詩

街燈

田中　勇

夜になると、
街燈は野山に輝く
少年と少女と童等は
今夜もまた切通しに並び
街燈を見つめてゐる
街燈の
愛情さ調和の祈り
それは彼等のものだ
これから色々な事がよくなるだ
らうと
それは何にもならない！
たゞ一つの街燈の
調和――
夜になると
街燈は野山に濡れる

父母に捧ぐ

興　平

尊き父母の愛に抱かれて
二十有四年
私は傷める身をもつて
なつかしの故鄕へ歸つて來た
人の目は如何に冷めたくとも
父母だけはいつもやさしく
私にとつて最大の味方でした
お父さん！　お母さん！
私はきつと〳〵大夫になつてみ
せます
尊き父母の愛に抱かれて
私の病も漸く日增しに
良くなつて來ました
あんなに血ばんでゐた私の心も
こんなに元氣になりましたよ
お父さん！　お母さん！
あゝこのよろこびを
何にたとへませう
私はたゞ拜みませう

飢餓

小松詩淸

聖なる母の面やつれ
蒼白き頰に光るは淚
心なき嬰兒乳房を探ね
糧慾しと泣くぞ哀れ
されど　されど飢身に迫り
求むれど食與へられず
希望なき憂ひの生活
幾日をかくて泣くらん

花によせて

慈光路子

コデマリの花が匂ふ
コデマリの花の白さに
あたゝまる思ひ出あり
海こえてはろ〳〵遠く
故鄕にかへり來し今日
コデマリの花が匂ふよ
汚れなき花におぼへた
たつた一つはるかな願ひ
故鄕の青空をゆく
白雲の一群にたくす
たつた一つはるかな願ひ

いわき俳壇

あざみ句會（小名濱）　石井汸江選

若葉　　一舟

峽くだる筏者若葉をすれすれに
若葉風わが身いとじみ風邪に臥す

對崖の若葉を濡らす飛沫かな　武士
蜘蛛の糸大きくたわみ若葉ふく　可水
一雨去り若葉の森のにぎやかに　春夫

汐干　　高月

はるかなる磯にこたへて汐干狩　次郎
雲ひとつ流れて干潟間遠なる　忠治
蕾月や汐干の岩のかにの泡　一舟

當季雜詠

夕映の躑躅なだれを汽車くだる　達男
山影をゆらし代田に水を張る　智照
海よりの風におのゝき夕牡丹
牡丹のよき庭自慢大百姓　武士
牡丹の花咲きしより漁家の留守
白き蝶ひら〳〵昏れるゆるやかに

選者吟

ゆき交へるボート若葉のきれ目より
いろ〳〵に若葉を渡る風に佇つ
つながり蝶若葉にはづみ觸れもする
汐干狩足裏の感にほゝえめる

當十七日一日限
浪花亭綾太郎が澤市に紛して活躍する
六代目榮五郎秘藏弟子
尾上笑雀
浪曲劇
壺坂寺靈驗記
入場料稅共　大人五、一〇　小人三、〇〇
湯本町　湯本座　電一〇三番
▼…前賣券發賣中

キリ印クスリ
◎…大乙膏
◎…生盛素
◎…胃腸藥
◎…カゼ藥
◎…濕布藥
生盛藥劑株式會社
福島縣總代理店
湯本町郊外長倉
生盛堂

男女　文化藝能研究生募集
―年齡十三才以上二十二才迄―
講目
一、音樂―和洋音樂部　絃樂部　管樂部
二、技藝―舞踊　邦樂　演藝　劇
■募集期間　五月二十日迄
條件　衣食手當（但月三十圓以上百五十圓マデ）三ケ年修了後五ケ年當國所屬技能者タル事
名華天勝經營
東海藝林
平市一丁目二川岸通（紫樂館トナリ）